



2019.7
第215号

まほろば

改めまして、弘前病院は赤ちゃんにやさしい病院 (Baby Friendly Hospital) です

WHO・ユニセフより、BFH（赤ちゃんにやさしい病院）の認定を受けて、12年目を迎えました。全国のBFH認定施設は68件（2018年）にのぼります。弘前病院の年間分娩件数は700件を超えますが、すべてのお母さんと赤ちゃんにやさしい関わりができるよう心がけています。

人間の成長・発達のスタートは基本的信頼の獲得です。生まれた赤ちゃんは、母親との信頼関係がすべての愛の出発点となります。母親が、愛情をこめて、手をかけて、こどもの気持ちを尊重し、こどもに安心感を与えることで、健全な心と身体が育っていきます。人を思いやる心、やさしい心は、まず自分が愛され、やさしくされた経験がなければ育たないのだそうです。そのことを、すべてのお母さんに伝えていく役割が、わたしたち助産師にはあります。

妊娠中～お産（入院中）～産後と、継続して関わることで、信頼関係を築くとともに、些細な困りごとにも気軽に相談できる環境を整え、お母さんが愛情たっぷりに赤ちゃんを育てられるように寄り添っていきたいと考えています。

母子医療センター 看護師長：長尾 愛佳



ピカソの母子像

BFH 認定施設に贈られます

おっぱい通信では、母乳のことだけでなく、妊婦さんからのよくある質問や、最近の気になる流行疾患について載せています。院内廊下に掲示していますので、ぜひご覧ください♪



あっぱい通信

BFHとは
BFHはBaby Friendly Hospitalの略で、赤ちゃんにやさしい病院を意味します。

その影響は皆に対して胎内環境が良く、産後子育ての中心に、子どもの成長の糧が蓄積されます。その結果、赤ちゃんの健康や心身の発達に良い影響を与えます。

入院中の母乳育児
入院中の母乳育児は母子ともに元気であれば、産後すぐに母乳を飲め、母子健康となります。そのために、アタチの母乳育児のサポートを行います。

妊婦学級の開催
1000-1040 産科 妊婦学級の開催 10-20分
1100-1200 産科 赤ちゃんの育て方について 20-30分
1300-1430 産科 赤ちゃんの育て方について 20-30分
1500-1630 産科 入院中の生活、産後のケアについて 20-30分

あっぱい通信

有菌風でリンゴ病がとも流行しています!!!

リンゴ病（伝染性紅斑）とは？
4～5歳の幼児に多く、発熱を伴います。

○潜伏期：生後10～15日
○潜伏期間：4～20日
○症状：発熱後約1週間後かぜ症状を示し、この時期の感染率が最も高いです。その後、顔に赤い点状皮疹が出現し、成人の場合は、紅斑よりも関節痛・関節炎の発症のほうが多いといわれています。発熱することもあります。

○予防法：人混みを避けます。外出時はマスクを着用し、手洗いを心がけます。

6～7月にかけて手足口病が流行します!!!

手足口病とは？
5歳以下の流行が中心で、発熱・発疹・咽頭痛・口内炎を伴います。

○潜伏期：生後10～15日
○潜伏期間：3～6日
○症状：口内炎・手足に水疱性の発疹が出現します。発熱することもあります。

○予防法：手洗いの徹底、接触物の正しい処理が大切です。

お告知が近くなったら・・・
○ マニキュア、ジェルネイルはOFFしておきましょう。
○ 指輪などのアクセサリー類ははずしておきましょう。

花の日礼拝



令和元年6月19日(水)、今年も弘前学院聖愛中学高等学校より2名の生徒さんが来院し、「花の日礼拝」で飾られた花束を届けてくれました。

「花の日礼拝」は、生命を与えて養い育ててくださる神様に感謝を捧げる礼拝で、礼拝で飾られた花束を、病床にある方々と、生徒さんが毎年届けてくれます。

花束には、「皆さんのお体が早く元気になりますように。また、暑くなってきていますが熱中症にはお気をつけください。」といったメッセージが添えられ、院長と看護部長に手渡されました。

今回花束を届けてくれた生徒さんの一人は、将来は看護師になりたいと話しており、看護部長は

「待っています」と、未来の看護師に期待を寄せていました。

美しい花束を頂き、我々は患者様がはやく回復と退院ができるように今後より一層支援をしていかなければと改めて思うことができました。また生徒さんの「看護師になりたい」という想いも聞いたことで、医療の世界を目指す若い世代にとって模範であるような病院であろうと強く思いました。

梅雨の蒸し暑い中、花束を届けてくれた2名の生徒さんに感謝申し上げます。



庶務係：高山 周

スポーツ大会を振り返って

私たちの看護学校では学年間の親睦を図るとともに健全な心身を養うことを目的に、毎年スポーツ大会が開催されています。競技は卓球やバドミントンなどがあり、ドッジボールはクラス全員が参加します。普段講義や、三年生は実習の毎日ですが、みんな楽しそうに競技に参加していて、体を動かすことで心も体もリフレッシュできている

様子がうかがえました。教員も競技に参加してくださり、学生と一緒に競技をすることで、学生と教員の関係性もより深まったと感じました。

各学年、クラスで協力して行動し、積極的に応援する姿が見られました。この協調性や積極性は看護師として非常に大切な要素の一つだと思います。

とても充実した一日でした。2学年：平川 創太



わくわく☆親子遠足

とっても気持ちの良いお天気だった6月1日(土)、弥生いこの広場へ親子遠足へ行ってきました。友だちやお家の人と一緒に楽しい時間を過ごしました。動物園では、動物の動きや鳴き声のモノマネをしたり、こわごわしながら、うさぎを抱っこしたり、ポニーの乗馬体験をしたりしました。普段、触れる事が少ない動物に触れ、新たな

発見をした子どもたちの目はキラキラといつも以上に輝いていました。涼しい木陰で美味しいお弁当をゆっくり食べた後は、広い野原を駆け回ったり、大きなすべり台を滑ったり、たくさん身体を動かし、体力が尽きるまで遊びました。保護者の皆さんのコミュニケーションも深まり、たくさんニコニコ笑顔が見られた素敵な1日となりました。

風の子保育園 園長：木村 美千代



第12回臨床研修医セミナー及び青森県医師臨床研修病院・専門研修プログラム合同説明会に参加して

令和元年6月1日（土）、弘前大学医学部学生支援センターにて、第12回臨床研修医セミナー及び青森県医師臨床研修病院・専門研修プログラム合同説明会が開催されました。

午前中に開催された臨床研修医セミナーは、青森県医師臨床協議会主催で、県内臨床研修医のレベルの向上を図り、併せて県内各臨床研修病院の研修医・指導医と医学生の交流を図るために毎年行われております。

第1部 Case Share Conference は、県内臨床研修医が遭遇した症例・事例で教訓的なもの、すなわちためになる経験で、県内の研修医で共有したいものをクイズ形式で提示し、検討するカンファレンスで、総合司会が弘前大学総合診療部 加藤博之教授（県医師臨床研修対策協議会副会長）で、各症例の司会を各ケースを出題した臨床研修病院の指導医が行い、症例毎にゲストコメンテーターである京都府立医科大学 救急医療学 太田凡教授からコメントを受けるというものでした。当院からも石黒陽臨床研究部長の司会のもと、1年目研修医の古米健吾先生から演題名「急性胃腸炎？」ということで腹痛の症状と部位による鑑別に加え、USの重要性を認識させられた症例についての発表がありました。

第2部 臨床研修ランチョンセミナーでは、太田凡教授より演題名「3人の救急患者さん」の講演があり、お弁当を食べる手を止め、熱心に聴講する研修医や医学生が印象的でした。

午後に開催された合同説明会は、主に弘前大学医学部医学生に対し、青森県の臨床研修病院の研修プログラムや指導体制を広くPRすることで、臨床研修医の確保を図ることを目的としております。各臨床研修病院ごとに展示ブースを設け、各病院のブースに訪れた学生に研修プログラムや病院の魅力を紹介しておりました。当院のブースにも多数の医学生が訪れ、当院の研修医から弘前病院の研修プログラムや処遇、教育環境など説明され、医学生が熱心に聞いておりました。

最後に当院を青森県や津軽地域における臨床研修指定病院として今後さらに発展充実させていきたいと思っております。

庶務班長：越田 幸樹



研修医便り

初期研修医 1年目の佐々木悠子です。出身は五所川原市です。というと、「意外となまってないね」と言われ、私にとっては最高の誉め言葉です。研修医の中では、なまっている部類に入っているのだから嬉しいです。

私は、ジャニーズの嵐が好きです。先日20周年の記念アルバムが発売になり、通勤中の車の中ではずっと嵐を聞いています。

働き始めてから早いもので3か月が経ちました。4月5月は産婦人科、6月は小児科でお世話になりました。産婦人科で妊婦検診やお産に立ち会った方と、小児科の1か月健診でまたお目にかかり、周産期の一連の経過をみるという貴重な経験になりました。7月8月9月は外の病院で研修し、10月から呼吸器内科でまた戻ってきます。

まだまだ輪番当直には慣れず、分からないことばかりです。指導医の先生方や看護師さん、事務の方にもご迷惑をかけることと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。

臨床研修医：佐々木 悠子



外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (令和元年7月16日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本 秀 樹	熊本 秀 樹	熊本 秀 樹	熊本 秀 樹	横田 貴 志
呼吸器科		中川 英 之	山本 勝 丸	中川 英 之	山本 勝 丸	中川 英 之
		山本 勝 丸	下山 垂 矢子	下山 垂 矢子	下山 垂 矢子	下山 垂 矢子
		下山 垂 矢子	田中 佳 人	田中 佳 人	-	田中 佳 人
		-	石岡 佳 子	-	-	-
消化器・血液内科		松木 明 彦	相原 智 之	相原 智 之	松木 明 彦	相原 智 之
		山口 公 平	間山 恒	松木 明 彦	間山 恒	山口 公 平
		佐藤 年 信	千葉 裕 樹	佐藤 年 信	山下 寛	佐藤 年 信
		石黒 陽	石黒 陽	千葉 裕 樹	石黒 陽	石黒 陽
	午後 血液内科のみ	間山 恒	山口 公 平	間山 恒	山口 公 平	-
脳神経内科		廣畑 美 枝	清野 祐 輔	-	清野 祐 輔	清野 祐 輔
小児科		杉本 和 彦	佐藤 工	敦賀 和 志	佐藤 工	杉本 和 彦
		敦賀 和 志	松本 麻 希	佐藤 啓	杉田 梓	佐藤 啓
		杉田 梓	藤岡 彩 夏	藤岡 彩 夏	松本 麻 希	藤岡 彩 夏
外科		柴田 滋	内田 知 顕	柴田 滋	内田 知 顕	三上 勝 也
		-	堤 伸 二	堤 伸 二	堤 伸 二	-
乳腺外科		小田桐 弘 毅	小田桐 弘 毅	小田桐 弘 毅	小田桐 弘 毅	小田桐 弘 毅
整形外科	午前	岩崎 宏 貴	秋元 博 之	秋元 博 之	中村 吉 秀	秋元 博 之
		藤田 有 紀	中村 吉 秀	岩崎 宏 貴	藤田 有 紀	中村 吉 秀
		猿賀 達 郎	藤田 有 紀	猿賀 達 郎	-	岩崎 宏 貴
脳神経外科		-	-	木村 正 英	-	-
皮膚科	午前	熊野 高 行	佐藤 正 憲	佐藤 正 憲	熊野 高 行	熊野 高 行
		佐藤 正 憲	熊野 高 行	熊野 高 行	佐藤 正 憲	佐藤 正 憲
	午後	● 予 約	● 手術/検査	● 予 約	● 手術/検査	● 予 約
泌尿器科	午前	成田 拓 磨	成田 拓 磨	成田 拓 磨	成田 拓 磨	成田 拓 磨
	午後	検 査	検 査	手 術	検 査	手 術
産婦人科		飯野 香 理	金森 正 紘	松村 由 紀子	● 妊婦健診 (一般外来休診)	飯野 香 理
		松村 由 紀子	丹藤 伴 江	丹藤 伴 江		追切 裕 江
眼科		蒔苗 順 義	蒔苗 順 義	蒔苗 順 義	蒔苗 順 義	蒔苗 順 義
耳鼻咽喉科		西澤 尚 徳	西澤 尚 徳	西澤 尚 徳	西澤 尚 徳	西澤 尚 徳
		工藤 玲 子	松下 景	-	-	-
放射線科	診断	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄
	治療	-	-	川口 英 夫 (午後)	-	川口 英 夫 (午後)
女性専用外来			杉本 菜穂子(※予約制/第1・第3)	水曜日午後診療		
セカンドオピニオン		-	-	-	休 診	-

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。
※ セカンドオピニオン外来は当分の間休診となります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

初夏の空 心にしみる 智恵子沙

(石沢)

未来へと ふんばリズムだ 子供達

(りん)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>